

財政運営の安定的確保の為の自助努力の

必要性について

沼倉 啓介

〔質問〕国民の政治へのストレスの高まりの中で政権交代がなされ、それらの係わりも不透明さを増している。本市も一般会計において実質単年度収支がマイナスとなり、更に一市二町組合への負担、国保特会への追加繰出、下水道会計等への繰出等の影響により経常収支比率も悪化傾向を

示し、財政構造の弾力性も硬直化を示している。まして前述の一市二町組合等の負担金の大幅な軽減の好転の見通しも見えていない。市としてのそれらへの係わりについて確固たる姿勢等の必要性を感じざるを得ない。財政運営の安定的確保の為に必要と思われるそれらについてのお考えに

ついて伺いたい。

〔答弁〕【市長】白石市外二町組合の病院会計や下水道事業会計などの地方公営企業に対する繰り出しについては、総務省からの通知による繰出基準に基づき、自らの経営努力だけでは対応しがたい事案を基本としている。

また、その繰り出しも無制限ではなく、公立刈田綜合病院においては、本年2月に策定した病院改革プランに基づき、院長を先頭に精一杯経営努力してもなお不足する経費

について行うものであり、市民の健康と安全を守るため、今後も支援をしまいたい。

また、財源の確保は、市政運営にとって最重要課題である。現在、平成22年度から24年度までの新集中改革プランを鋭意策定中である。安定的な財政基盤の確立を重点事項の一つに位置づけ、若手職員

によるワーキンググループのアイデアも生かしながら、自主財源の確保、そして、徹底した経費の節減、合理化を図る方策をつくり上げようとしている。

ている。

それをもとに、平成22年度から、すべての事務事業を対象とした聖域なき行政改革に全庁挙げて取り組み、慎重な財政運営を行ってまいりたい。



若者の結婚問題について

大野 栄光

〔質問〕当市の数々の子育て支援策が多くの市民に支持されている。

しかし、こうした施策の恩恵に与れない若者が大変多くなっていることに当市の将来を危惧している所である。一人でも多くの若者が結婚をし充実した人生を送っていただき、社会に寄与してもらおうべ

く、できうる限りの支援策を行政は惜しむべきではないと思う。

また、小・中学校の夢ふくらむ時期に結婚の大切さ、子供達が社会を構築して行くことの大切さを学ぶことも大事なことと思うが、市長の所見を伺いたい。

【その他の質問】

○夜間の延長保育と泊まり保育について

〔答弁〕【市長】本来、結婚は、憲法に規定されているように、両性の合意のみに基づいて成立するものである。

このことから、プライベートにかかわることもであり、他から強制して行うべきものではないものであると思っております。行政が主体となるべきものではないと考えている。本市においては、間接的に

ではあるが、宮城県教育委員会所管の財団法人宮城県青年会館が行う結婚情報サービスセンターの支援をしている。

また、市や諸団体が行う行事などへの参加なども一つのきっかけづくりになると思うので、議員の皆様方には、積極的に参加することを促していただくようお願いを申し上げます。次第である。

中学校等において、道徳教育では、男女のあり方、家族、特に父母への敬愛という部分に重きをおいている。

しかし、指導書等にも書かれているが、特に男女のあり方については、平等性、異性に対する敬愛と、畏敬の念を持つということと、あまり深入りはしないことになっている。

